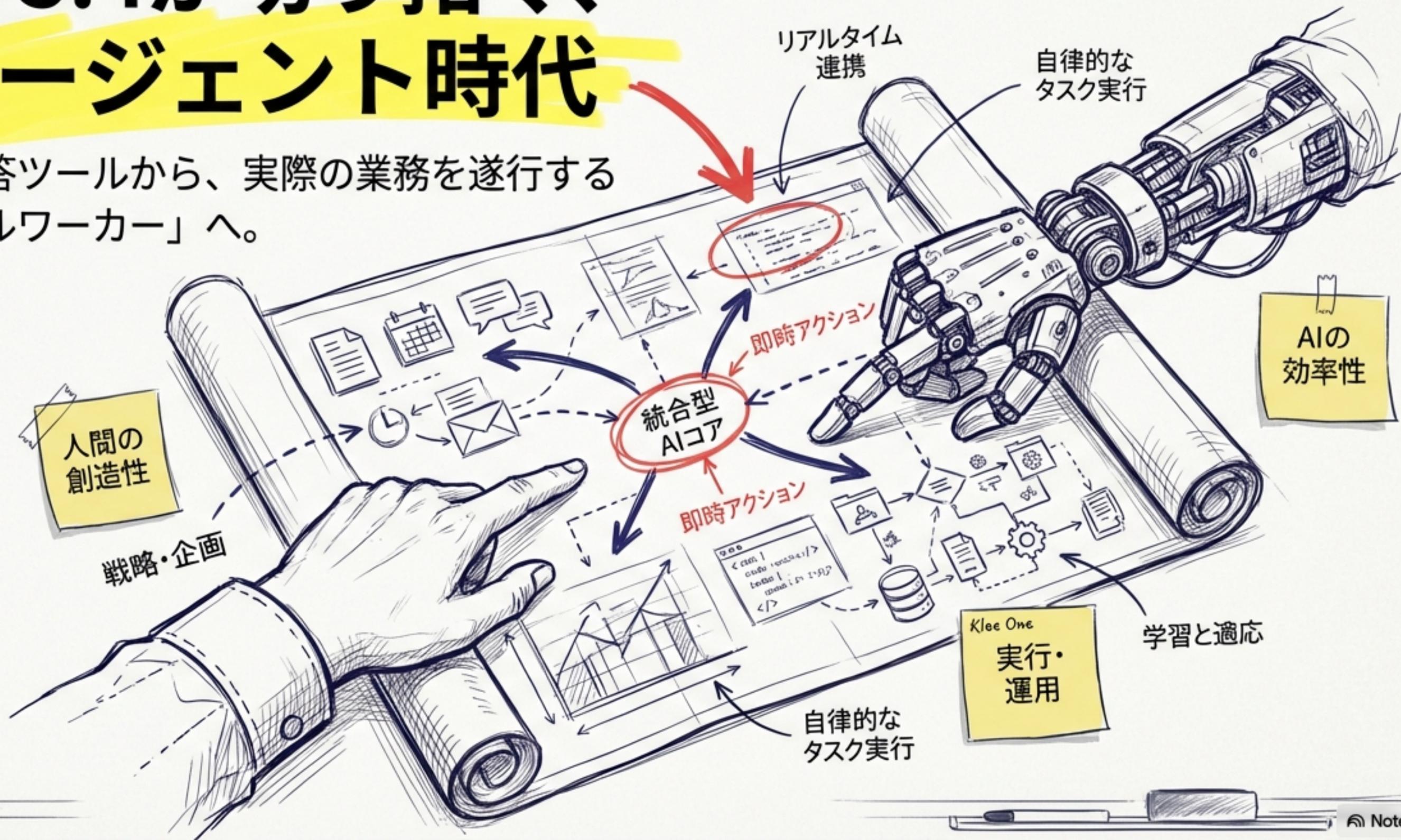
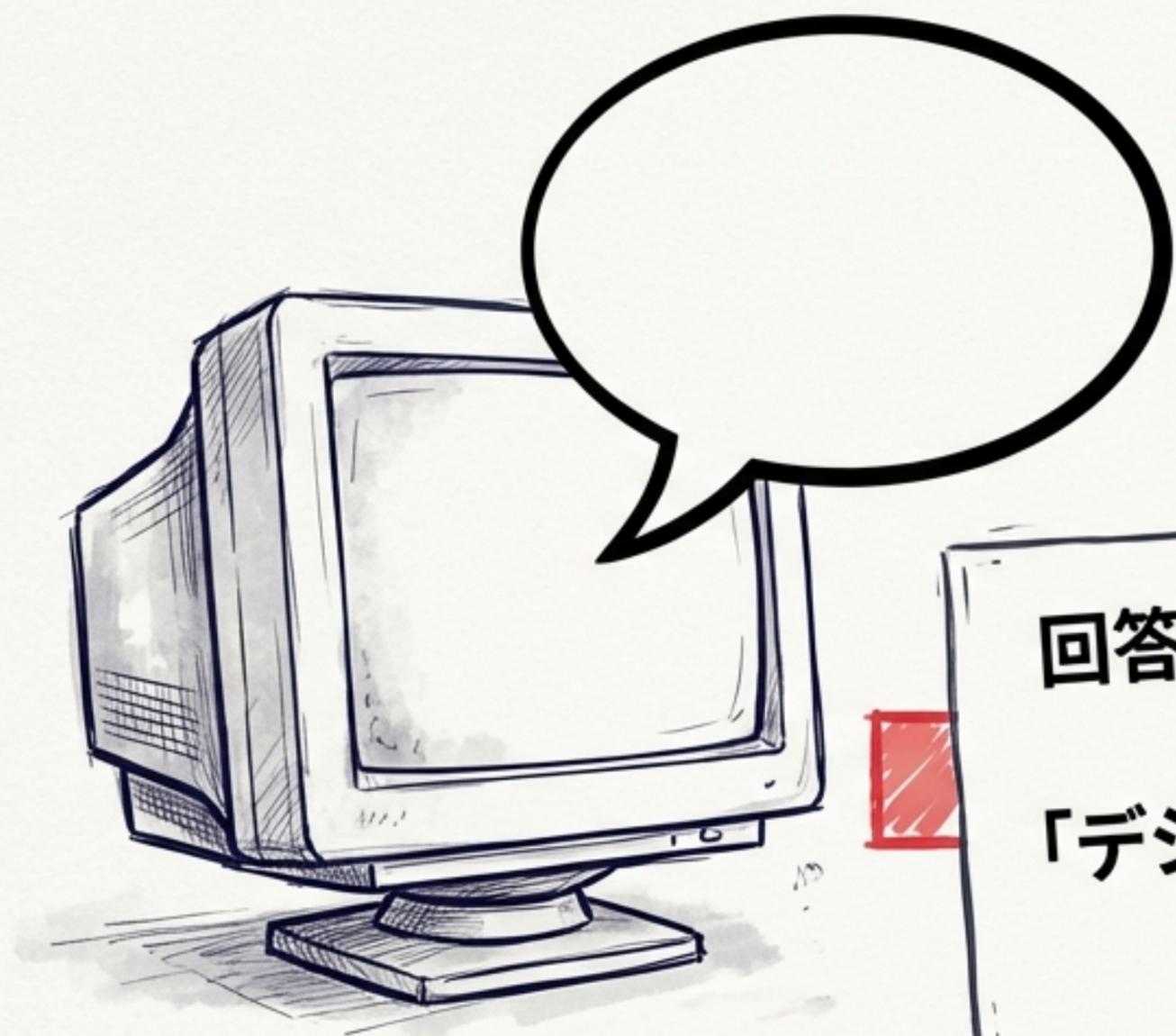


GPT-5.4が切り拓く、 AIエージェント時代

単なる回答ツールから、実際の業務を遂行する
「デジタルワーカー」へ。

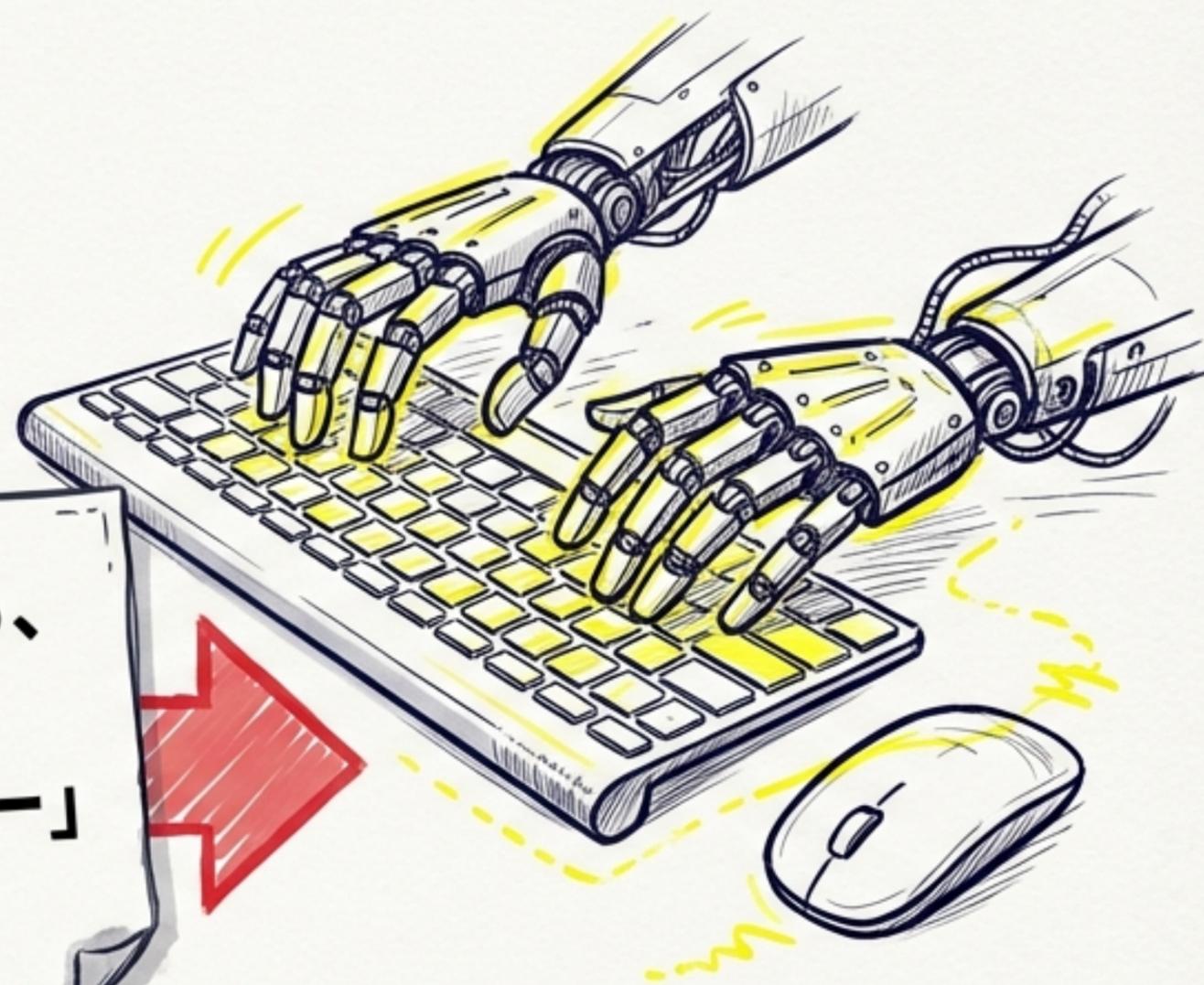




【従来のAI】

「知識の提供」が中心
(質問回答、文章生成、コード作成)

回答エンジンから、
自律的な
「デジタルワーカー」
へ進化。



【GPT-5.4】

「作業の実行」を前提とした設計
(ソフトウェアの操作、複数ツールの
連携、長いワークフローの実行)

実務を根底から変える、5つの進化の柱

1. 高度な推論能力
(Advanced Reasoning)

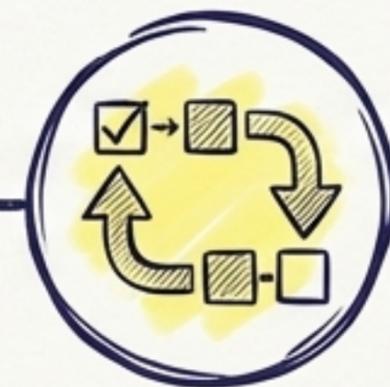


2. コーディング能力の強化
(Enhanced Coding)



GPT-5.4
Anatomy

3. ネイティブな
AIエージェント機能
(Native AI Agent)



5. 長大コンテキスト対応
(Long Context)

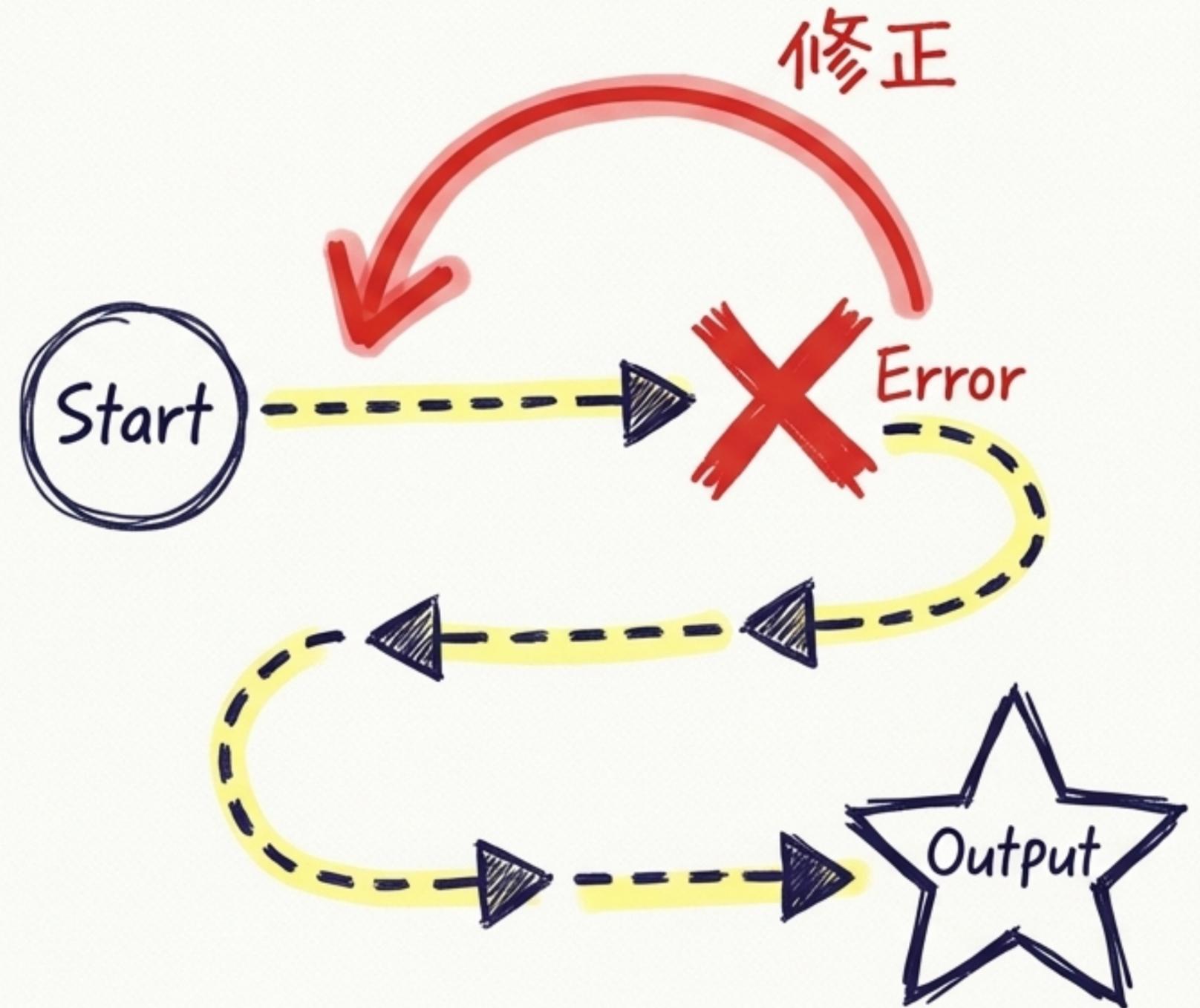


4. コンピューター操作機能
(Computer Operation)



複雑な課題に対し、途中で仮説を修正しながら考える

- ・ 質問に即答するのではなく、条件や前提を整理して段階的に推論。
- ・ 「考えながら回答を作る」プロセスが大幅に向上。

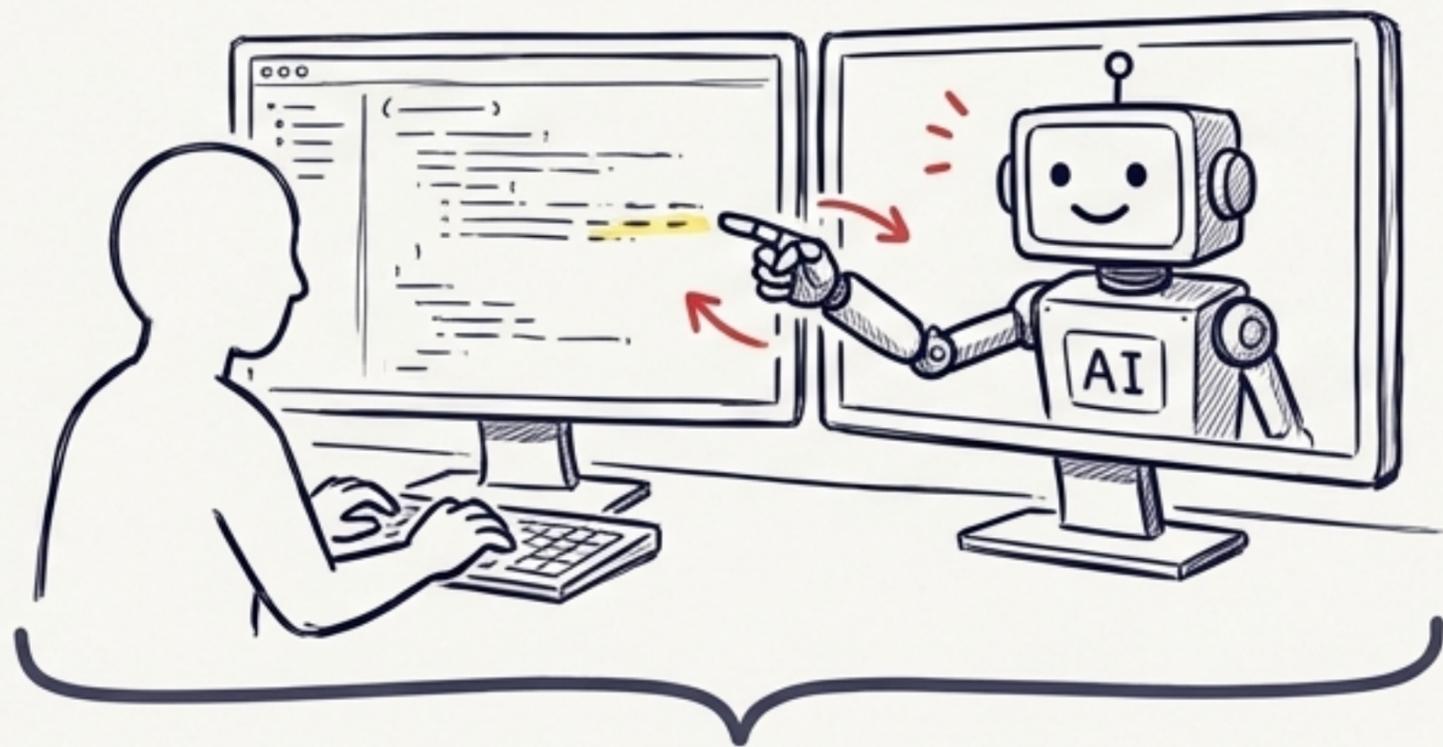


【想定ユースケース】

- ・ ビジネス戦略の検討
- ・ システム設計
- ・ データ分析

大規模コードを理解する、頼れるペアプログラミング相手

- 単一のコード生成から、複数ファイルの関係整理へ進化。
- バグの原因特定から修正、テストコード作成まで包括的に支援。



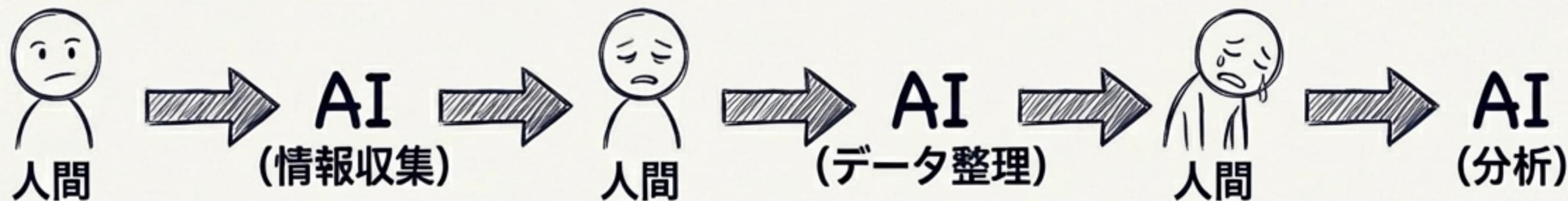
究極のペアプロ相手

エンジニアの「検索 → 試行 → 再検索」という泥臭いループを劇的に削減。

人間の連続した指示を不要にする、自律型AIエージェント

- ・ユーザーの最初の指示に基づき、複数の作業を自律的に実行。
- ・AIがタスク全体を俯瞰し、必要なプロセスを順番にこなす。

【従来：手動の指示】



【GPT-5.4：エージェント】



画面を解析し、マウスとキーボードを直接操作する

- AIが実際のPC環境に介入し、物理的な操作を代行。
- 画面のUIを視覚的に理解（画面解析機能）。



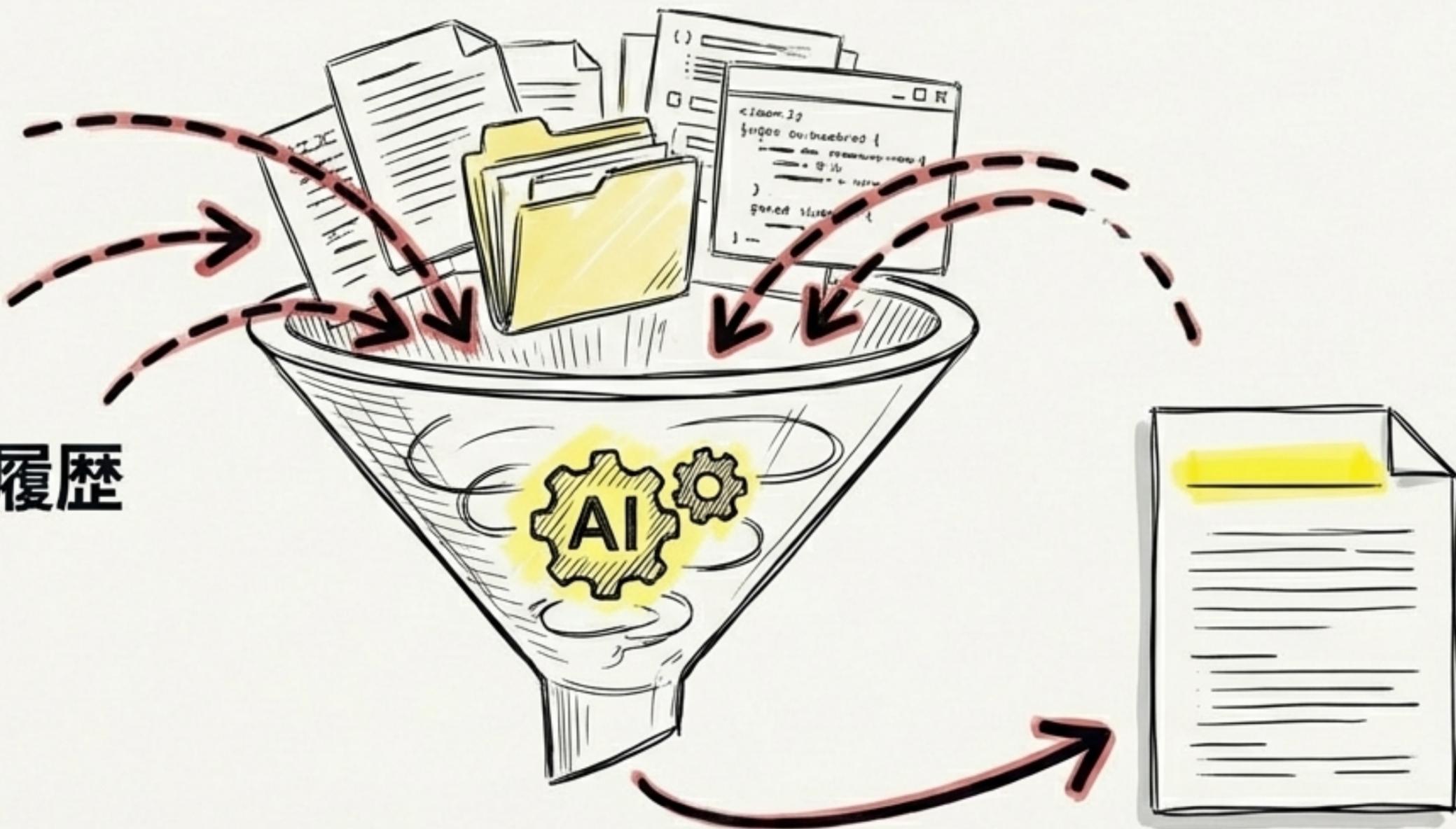
大規模なプロジェクト単位の情報を一挙に処理する

- AIが一度に処理できる情報量（コンテキスト）が劇的に拡大。
- 断片的な処理ではなく、全体像を把握した上での分析が可能に。

長い技術文書

大量のデータ

長時間の会話履歴



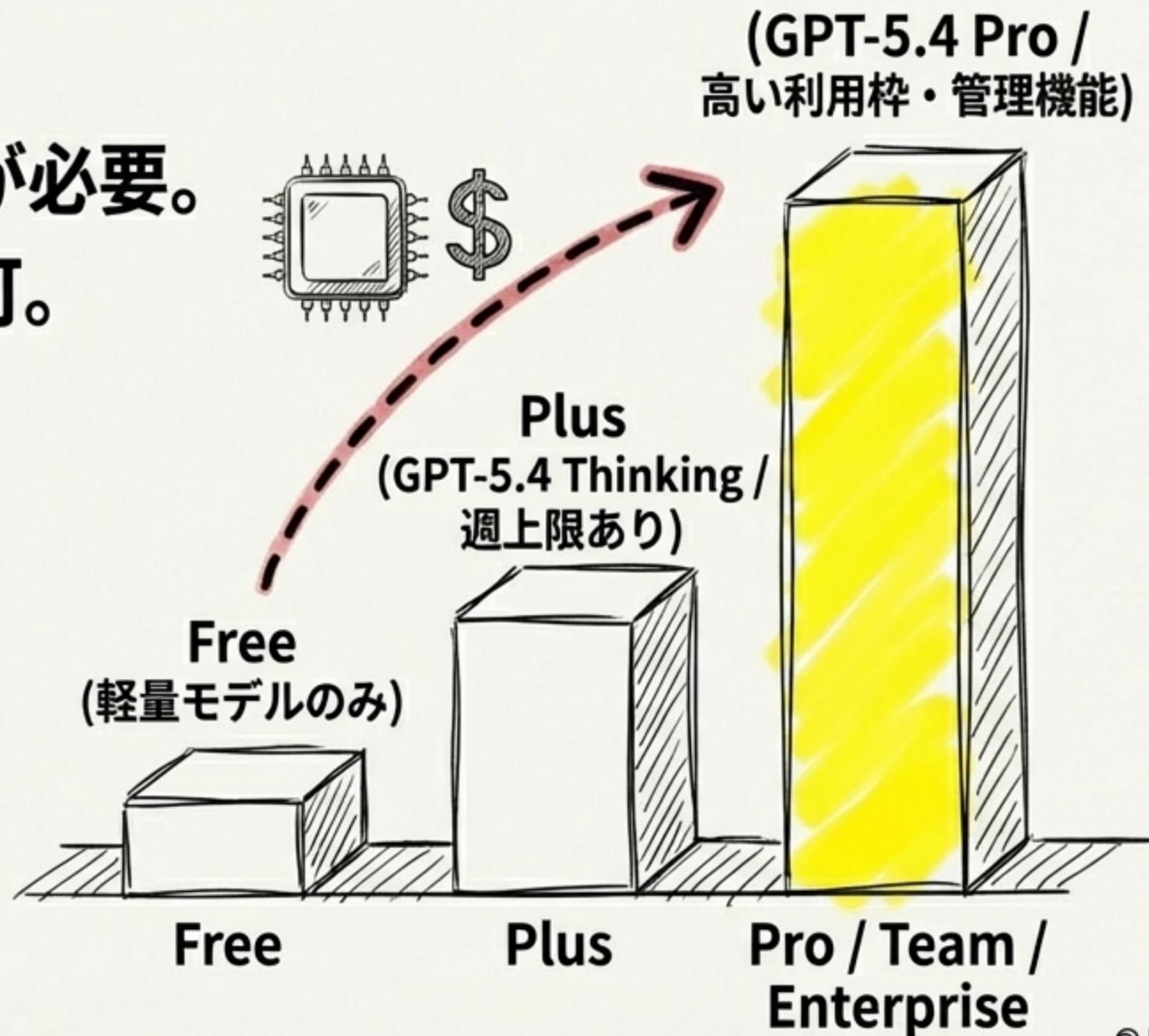
GPT-5.3からの進化：性能向上から「役割の根本的变化」へ

【項目】	【GPT-5.3】	【GPT-5.4】
推論能力	高い	さらに強化
コーディング	強い	より高度
エージェント機能	限定的	ネイティブ対応
コンピューター操作	非対応	対応

エージェント機能の統合は、AIの役割そのものを変えるゲームチェンジャー。

膨大な計算コストに伴う、料金プランと利用制限の現実

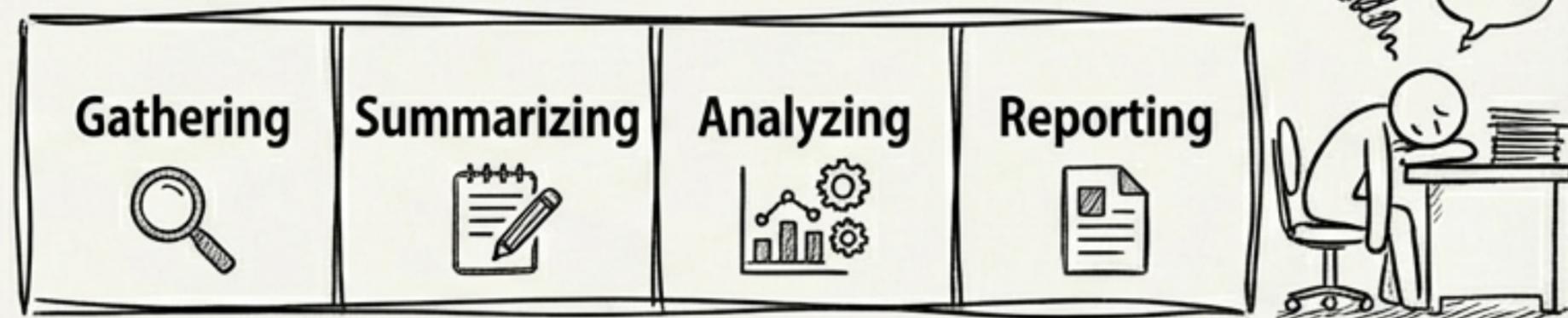
- 最新モデルの自律的思考には、非常に高い計算コスト（コンピューティングパワー）が必要。
- 無料プランでは最新機能は不可。本格的な業務利用にはProやTeamが必須となる構造。



活用例①：市場調査のリードタイムを劇的に短縮

- 「情報収集 → 要約 → 分析 → レポート作成」の全行程を一括処理。
- 人間はAIの出力結果を検証し、最終的な意思決定に集中。

Before AI



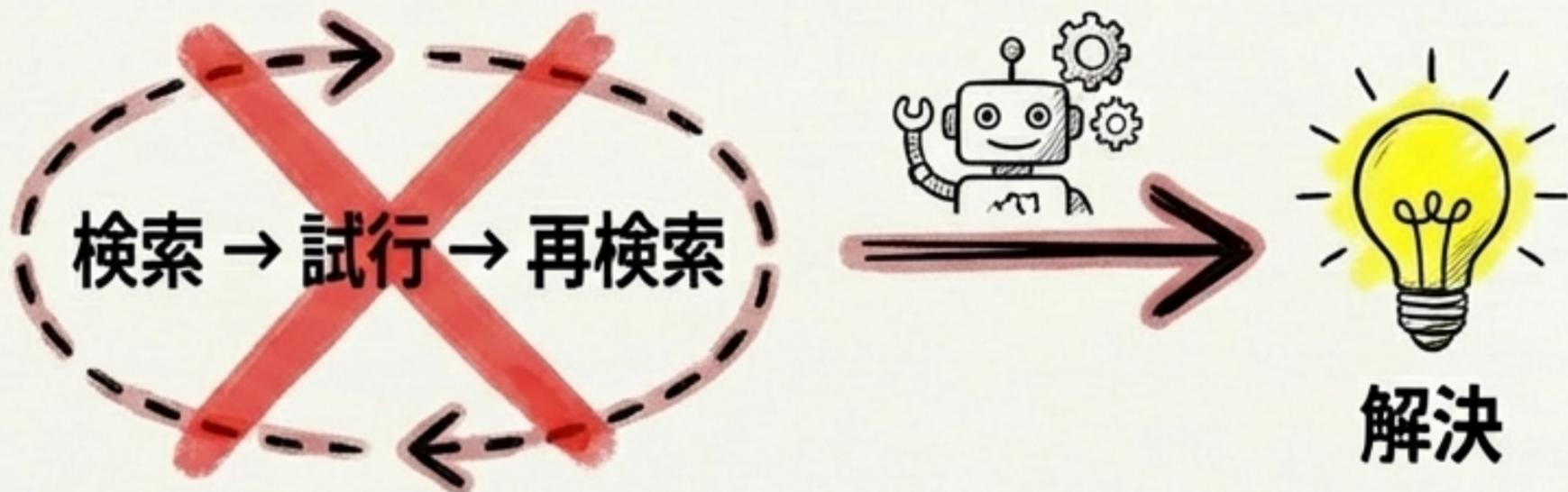
時間の大幅な**圧縮!**

With GPT-5.4



活用例②：開発エラーの即時解決と、柔軟な事務自動化

- 【ソフトウェア開発】
エラー原因の深い分析と改善提案で、開発のストッパーを排除。



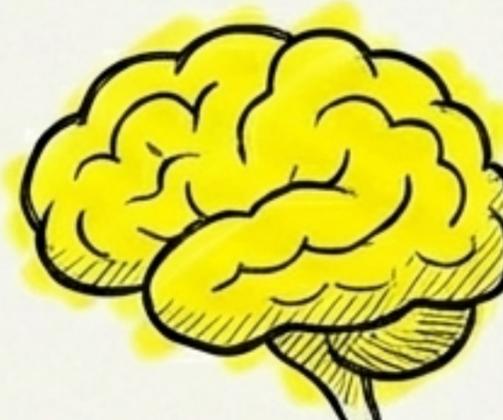
- 【事務作業の自動化】
ルールベースのRPAでは対応できなかった「曖昧なデータ入力やファイル整理」を柔軟に代行。

従来のRPA

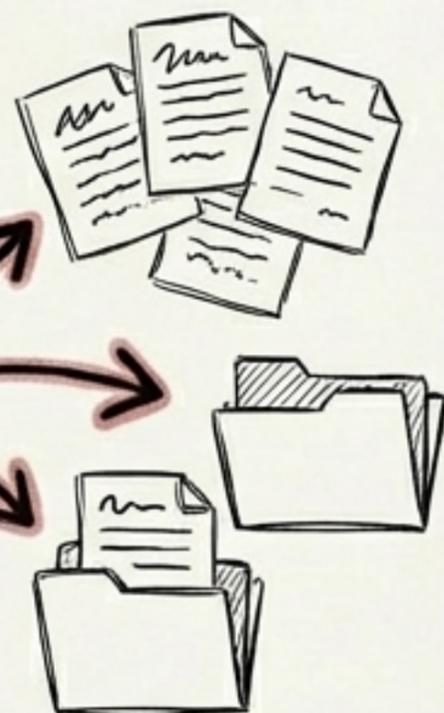


従来のRPA

柔軟なAI処理



柔軟なAI処理



運用上の注意①：情報の正確性と 機密データの保護



【情報の正確性】

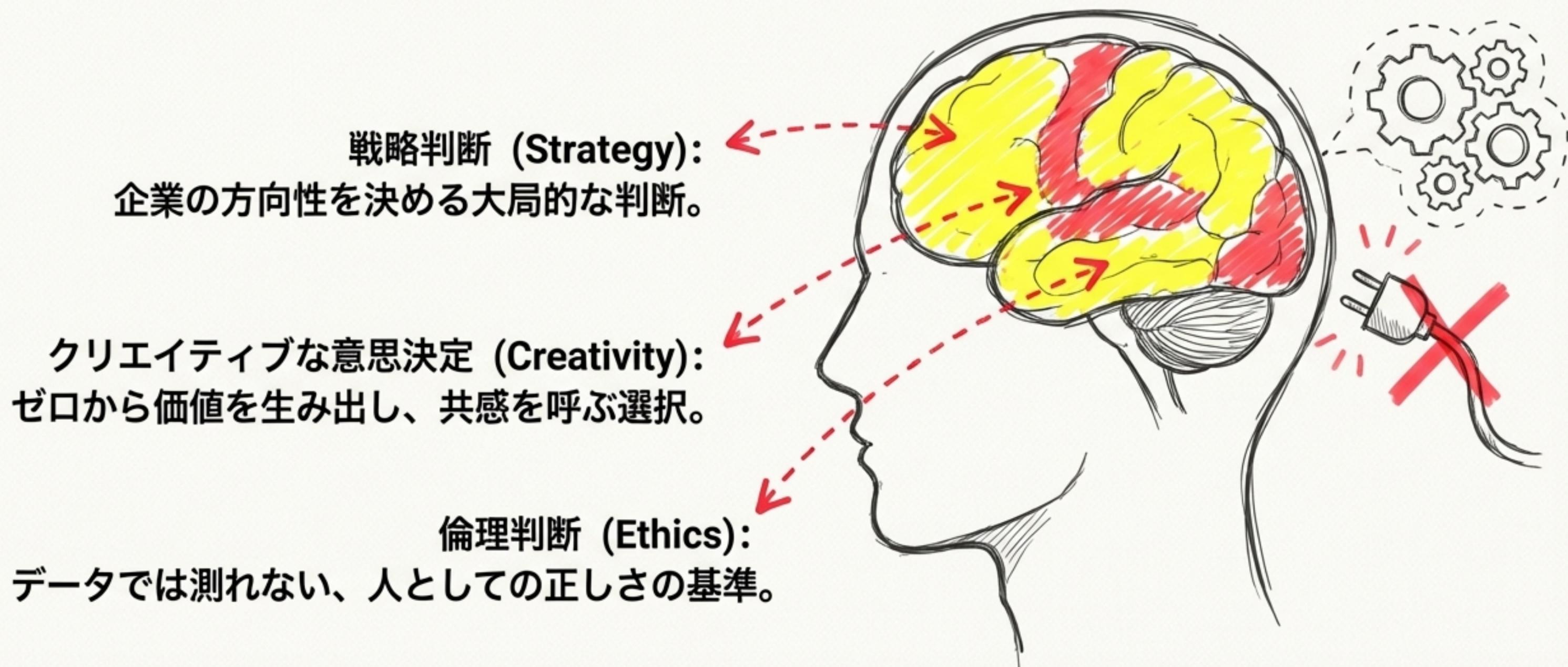
- ・ 誤情報の生成リスクは依然として存在。
- ・ 情報源の確認、数値データの検証、最新情報のチェックが必須。
- ・ あくまで「判断支援ツール」として活用する。

【機密情報の扱い】

- ・ 機密データ、顧客情報、社内文書の入力には注意。
- ・ 企業で利用する際は、必ずAIサービスの利用ポリシーを確認。

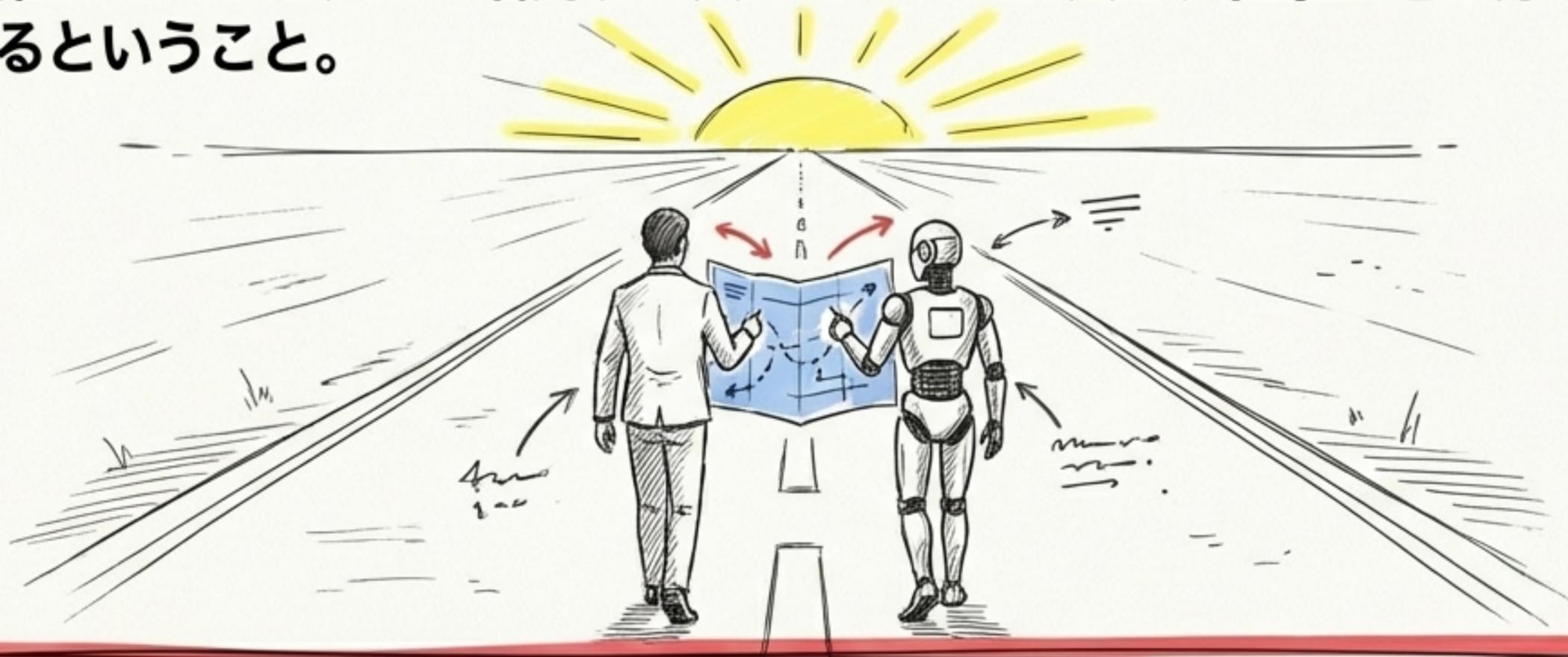
運用上の注意②：AIに依存してはいけない「人間の領域」

- AIは極めて優秀な補助ツールだが、すべてを任せることは現実的ではない。



ツールは進化した。次は私たちの働き方を進化させる番だ。

- GPT-5.4は単なる「回答ツール」から、実際の業務を支援する「デジタルパートナー」へと変貌を遂げた。
- AIがどこまで作業を代替できるかはまだ未知数。
- しかし一つ確かなことは、AIを活用する人とそうでない人で、仕事の進め方そのものが変わり始めているということ。



AIエージェント時代、あなたの新しいチームメンバーをどう活かしますか？